

平成29年度さぬき市行政評価報告書

平成29年11月2日

さぬき市行政評価委員会

平成29年度の行政評価を振り返って

事務事業外部評価を開始して6年目となる本年度は、委員7名の意見を基に、総務部所管2事業、市民部所管2事業、健康福祉部所管2事業、建設経済部所管3事業及び教育委員会事務局所管3事業のあわせて12事業を選択し、評価を行いました。

外部評価の継続により、どの部局においても質疑応答の質が向上するなど、市民に分かりやすい行政運営に努める姿勢が見られるようになりましたが、新規事業の必要性を認識しながらも先送りにする、といった積極性の乏しさを感じていました。この打開策の一つとして、今回は、各課の裁量権が強いであろう事務事業に対し、ムダを省く視点で運用改善に向けた提言を行えるよう、総合計画掲載事業のうち、平成28年度当初予算ベースで一般財源を500万円以上要する事務事業を中心に対象事業を選定しました。外部評価の時間は、事情聴取や意見交換の時間を確保する観点から、これまでの実績を踏まえ、1事業当たり40分(事業説明5分、質疑応答30分、評価シート記入5分)程度を基本に実施しました。

評価を終えた全体的な感想としては、全ての所属が、担当する事務事業の課題を把握し、その多くは、課題の解決策を提示していましたが、解決策を実行に移すことは、ほとんどの所属にとって困難なようでした。財源の問題もありますが、人的資源の制約が大きいように見受けられました。通常の業務量が多いため、事務事業の改善に十分な時間を充てることができず、結果として、「過去の流れを踏襲するだけの、メリハリとスピード感がない行政運営」との印象につながっているように思われます。また、評価調書の中で、担当者が記入する第一次評価と、所属長が記入する第二次評価の評価点に違いが見られました。この差が、担当者として所属長が協調して業務を遂行できていないことの現れであれば、まずは、この差を縮める努力が重要と思われます。市民サービス向上のため、限られた人員で効果的かつ効率的な行政運営を実現するためには、う遠ではありますが、業務量削減のため、事務の合理化は必要です。所属全体で所管する事務事業の改善について話し合い、実践する気運を高める取組を、今一度、市全体で推進してはいかがでしょうか。

それでは、以下、各事業の評価を通して委員から寄せられた主な意見を列挙します。

1点目は、将来的視点に立った、公共施設のあり方の再検討と維持管理の徹底です。温泉施設、総合運動公園、ワイン加工施設、いずれの施設も旧態依然とした運営方法であり、収入増の視点が乏しいように思えました。施設ごとに、福祉向上や農業振興等の利用目的があるため、一概に採算性を求めることは難しいとは思いますが、時代の流れや、質重視の利用者ニーズに応えるためにも、使用料等の収入増加を切り口とした管理努力は必要不可欠と考えます。人口減少が進む本市の将来を考え、市内での観光交流客による消費を増やせるよう、市全体の目標額と、各施設での個別目標額を設定し、その達成に向けた維持管理方針を立ててみてはいかがでしょうか。

2点目は、IT事業の強力な推進です。本市においては、全庁的なシステム最適化や合理的なシステム調達・運用の方法については、なお課題があると思えました。多発するサイバー攻撃への不安を払拭し、災害時でも必要な市民サービスを維持できるよう、計画的な人材育成と効果的・効率的なシステム構築に努めていただきたいと思います。

いつまでも市民にとって「住みよい・住み続けたいまち」であり続けるためには、事務事業の選択と集中に組織全体で取り組み、行政サービスの水準を保つことが必要です。本委員会による行政評価が、課題解決の一助となれば幸いです。

さぬき市行政評価委員会
委員長 長山 貴之

事務事業評価結果項目一覧表

No.	事業名	拡充	現状 維持	要改善	抜本的 見直し	統合 廃止
1	シルバー人材センター補助事業			○		
2	保育所運営事業		○			
3	交通安全推進事業		○			
4	市税収納・徴収事業	○				
5	住宅管理事業		○			
6	ワイン加工施設管理事業			○		
7	温泉施設管理事業					○
8	生活環境整備事業		○			
9	総合運動公園管理事業		○			
10	学校給食事業		○			
11	遠距離通学児童生徒支援事業		○			
12	電算システム維持管理事務事業	○				
合計		2	7	2	0	1

個別事業に対する評価

事業名	シルバー人材センター補助事業
担当部署名	健康福祉部 長寿障害福祉課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>さぬき市シルバー人材センターへの会員登録は、市内在住のおおむね 60 歳以上であることから、高齢化が進む中、会員対象者は増加していると思われる。しかし、会員数は減少しており、受注件数、受注金額共に減少しているのが実態である。</p> <p>地域社会の中でシルバーパワーが十分に発揮されるためにも、高齢者の労働ニーズと依頼側の業務ニーズを調査することで、業務の掘り起こしと、新規会員の獲得を目指せるのではないかと考えられる。高齢者が、健康で生きがいを持っていきいきと生活できるよう、シルバー人材センターの新たな取組を期待する。</p>

事業名	保育所運営事業
担当部署名	健康福祉部 子育て支援課幼保連携推進室
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>少子化が進行しているものの、低年齢からの入所を希望する家庭が増加し、保育所ニーズは高まっていると思われる。本市では、公立保育所の入所児童数は定員数を下回っているとのことだが、希望する施設に入所できないなど、潜在的な待機児童は存在していると考えられるので、保護者ニーズを把握し、民間保育所等と連携しながら潜在的待機児童の解消に努めてほしい。</p> <p>また、保育士を確実に確保するとともに、質の高い保育が継続されるよう保育士の資質の向上にも努めてほしい。</p> <p>なお、認定こども園の設置、運営については、地域の実情、保護者や保育士の要望等を踏まえ、万全の対策を講じてほしい。</p>

事業名	交通安全推進事業
担当部署名	市民部 生活環境課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>交通事故から子どもたちを守る取組として、地域の方々による見守りボランティアの力は大きく、継続的な活動を期待したい。地域ぐるみの交通安全対策を推進する中で、このようなボランティアに対する顕彰制度を検討してはどうか。</p> <p>また、さぬき警察署等と連携し、「自転車もとまれ」の標識の増設や、児童・生徒に対する交通安全教室の拡充に努めてほしい。</p> <p>あわせて、市内の高齢者に対する運転免許証自主返納を推進するためにも、市内で利用できる優遇サービスの充実に努めてほしい。</p>

事業名	市税収納・徴収事業
担当部署名	市民部税務課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>市税の徴収率は、現年分及び滞納繰越分共に向上していることから、平成 25 年度外部評価以降の取組の成果が伺える。今後は、租税負担の公平性の観点から、滞納繰越分の更なる徴収率の向上を目指してほしい。</p> <p>なお、滞納繰越分の徴収に向けた調査・交渉に取り組む場合、一定の業務経験がある職員の方が成果につながりやすいと考えるので、再任用職員の活用なども検討しながら、徴収業務の拡充に努めてほしい。</p>

事業名	住宅管理事業
担当部署名	建設経済部 都市計画課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>平成 29 年 4 月 1 日現在、市で管理している 757 戸の入居率は約 7 割であり、老朽化や耐震性がないなどの理由により募集を停止している政策的空家が約 2 割、政策的空家以外の空家が約 1 割となっている。入居率が年々下がる中、退去後に政策的空家に移行させる作業と市営住宅長寿命化計画に基づく修繕工事等に同時に取り組んでいるようだが、老朽化等が進んでいる市営住宅で暮らし続ける住民への対策が遅れているように感じる。当該住民との話し合いには時間とマンパワーが必要であることは十分承知しているが、安全・安心な暮らしの保障は必要不可欠なものであり、入居率向上と合わせた迅速な取組を期待する。</p>

事業名	ワイン加工施設管理事業
担当部署名	建設経済部 農林水産課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>さぬきワイナリーは県内唯一のワイン加工施設であることから、本市の観光施設としても、ワインの原料となるブドウを生産する農家にとっても有益な施設である。</p> <p>施設管理事務に固執しすぎず、商工観光課と積極的に連携し、第一次産業振興と観光振興の両方の観点で本施設の価値を再度見直し、今後の在り方も含め、活用策を検討してみてはどうか。</p> <p>なお、さぬきワインの売上額の向上は、市として直ちに実現させたい目標であり、指定管理者と話し合いながら、商品の品質向上につながる市内産ブドウの栽培と農家の育成に努めるとともに、販路拡大にも積極的に取り組んでほしい。</p>

事業名	温泉施設管理事業
担当部署名	建設経済部 商工観光課
総合評価	統合・廃止
評価理由及び改善箇所	<p>市内 6 か所の温泉施設は、市民の憩いの場や福祉の向上に役立っているものの、老朽化等に伴う多額の維持管理費が今後も見込まれ、これらの施設を全て現状のまま維持させることは、厳しい財政事情の続く本市において現実的ではないと考える。温泉施設の利用者の満足度調査や全世帯を対象とした一般調査の結果等を踏まえ、本市にとって最適な温泉施設の統廃合に取り組んでほしい。</p> <p>なお、存続させる温泉施設については、利用率向上を目指して更なるサービスの充実に努め、安定経営を早期に実現させてほしい。</p>

事業名	生活環境整備事業
担当部署名	総務部 管財課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、道路法や河川法などが適用されない里道や水路、池沼といった法定外公共物の修繕等を、地元自治会からの要望に基づき行う事業である。限られた予算の中で、要望書の受付順だけにとられずに地域バランス等を考慮して事業に取り組んでいることは評価できるので、今後も継続してほしい。</p> <p>なお、法定外公共物の維持管理は、災害被害を拡大させないためにも重要と考えるので、今後は、水利組合等との連携も視野に、地域と市で役割分担しながら良好な生活環境の維持に努めてほしい。</p>

事業名	総合運動公園管理事業
担当部署名	教育委員会事務局 生涯学習課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>心身ともに健康で文化的な生活を営むためにも、野球やサッカー、テニスなどのスポーツに親しめる運動公園は、市民にとって必要な施設である。合併前に設置された 8 つの運動公園を安全・快適に利用し続けられるよう、施設規模に合わせて指定管理者制度を導入し、効率的な維持管理に努めていることは評価できる。今後は、少子高齢化等に伴う利用者ニーズの変化を踏まえたメンテナンスの徹底が図られるよう、指定管理者への指導強化に努めてほしい。あわせて、全国レベルの競技大会の会場に選ばれる施設になることも目指し、施設の在り方そのものの検討や、利用者ターゲットを定めた改修経費の集中投下に取り組んでみてはどうか。</p>

事業名	学校給食事業
担当部署名	教育委員会事務局 学校教育課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>大川地区と志度地区の 2 か所の共同調理場で、年間約 200 日・1 日約 4,300 食を調理し、市立幼稚園及び小中学校に配送している。このような中、残食率が平均 2～3%と低く、市内外に誇れる質の高い給食が提供されていると推察される。子どもたちの心身の健康づくりに寄与できるよう、今後も、安全でおいしい給食づくりを通して食育の推進強化に努めてほしい。</p> <p>なお、コストとの関係もあるが、地場産物使用率がなお一層高まるよう期待するとともに、調理員の年齢構成を鑑み、人材育成を含めた将来的な施設運営の在り方も引き続き検討いただきたい。</p>

事業名	遠距離通学児童生徒支援事業
担当部署名	教育委員会事務局 教育総務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>さぬき市学校再編計画に基づく小中学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒を対象に、市がスクールバスを運行して安全安心な通学手段を保证する必要性は高い。運行経路や乗降時刻など児童生徒に関わる事項については、引き続き、保護者や学校等の意見を踏まえつつ、最適かつ公平公正に設定してほしい。</p> <p>なお、少子化の影響等により、今後も児童生徒の減少が見込まれているが、一人当たりの運行コストはもとより、対象児童生徒の通学手段の確実な確保と、何よりも事故ゼロの安全運行の継続を重視し、運行業務の委託事業者とともに業務改善に取り組んでほしい。</p>

事業名	電算システム維持管理事務事業
担当部署名	総務部 総務課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>今や、あらゆる情報は、コンピュータで管理・伝達することが一般的であり、効率的な行政運営を図る上でも電算システムは必要不可欠となっている。IT技術は日進月歩で発展しているが、情報漏えいはあってはならず、自然災害発生時の即時業務再開も期待されるところである。今後は、信頼性の高さはもとより、コストパフォーマンスを長期的視点で検証し、クラウドサービス等も候補としたシステムの調達運営に取り組んでほしい。また、調達業務の公正性確保とコストダウンを図る上からも、契約の透明性を高めることも必要ではないか。</p> <p>なお、本事業の担当者は、危機管理の面からも複数人であることが望ましく、業務の特殊性を鑑み、担当者のスキルアップ研修にも取り組みながら人材確保に努めてほしい。</p>

さぬき市行政評価委員

委員長	長山 貴之
副委員長	鈴木 珠美
委員	小山 富子
委員	千田 彰一
委員	津村 肇
委員	奈良 正史
委員	森 幹男

平成29年度さぬき市行政評価委員会開催経過

○第1回行政評価委員会

日 時 平成29年5月23日(火) 9時30分～
場 所 さぬき市役所第2委員会室
内 容 平成29年度行政評価委員会の進め方について 等

○第2回行政評価委員会

日 時 平成29年8月22日(火) 13時30分～
場 所 さぬき市役所第2委員会室
内 容 事務事業外部評価
(長寿障害福祉課、子育て支援課幼保連携推進室、生活環境課、税務課)

○第3回行政評価委員会

日 時 平成29年9月5日(火) 13時30分～
場 所 さぬき市役所第2委員会室
内 容 事務事業外部評価
(都市計画課、農林水産課、商工観光課、管財課)

○第4回行政評価委員会

日 時 平成29年10月3日(火) 18時00分～
場 所 さぬき市役所附属棟多目的室
内 容 事務事業外部評価
(生涯学習課、学校教育課、教育総務課、総務課)

○第5回行政評価委員会

日 時 平成29年10月24日(火) 13時30分～
場 所 さぬき市役所302会議室
内 容 報告内容の協議